

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	野生動物管理学 (Wild Animal Management)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	津田 堅之介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 or 3限目

【授業の学習内容】

基本的に津田が訪れた国内外のフィールドで実際に体験した内容を、津田が撮影した写真と取材に参加したり講義資料として最適であると集めてきた動画を見ながら解説。資料は、毎年フィールドで見聞きた最新情報や、話題となった実例を元に作った最新の資料を毎週配布し、感想や自分ならどう対応するかなどの意見も引き出しながら進める。

※実務経験者

動物写真家、エッセイスト

海外取材経験多数。東映東宝映画「日本列島 いきものたちの物語」ではシカの撮影を担当する等国内外で活躍する講師が授業を行う。

【到達目標】

職場において来訪者を楽しませ自分のファンを増やせられるように、経済動物に関しては生産性があげられるよう、どこに行っても通用する即戦力となる知識や、子供から大人までの幅広い層に分かりやすく解説出来る技術を身に着ける。卒業後も、日進月歩の飼育技術革新に絶えずアンテナを張り巡らせ、一生学び続けようという意識を持った、動物飼育の一流のプロフェッショナルであり続けようという自覚を育てたい。

授業計画・内容

1回目	シラバスと講義資料の写真、そして津田の今までの仕事を紹介するテレビ番組を見ながら一年の流れを解説
2回目	1限目の動物関連法規と連続で、和歌山県太地町で行われているイルカ漁を取り上げた「クジラと生きる」と、アメリカの環境保護団体が同じ場所で撮影し作った映画「The Cove」を鑑賞し、日本人と欧米人の自然観の違いについて考えてもらいます
3回目	人間と生態系の関わり合いPart1。人を利用して生きている動物を写真と津田出演のテレビ番組で解説。
4回目	人間と生態系の関わり合いPart2。人の生活に役に立っている動物。野生動物になぜ餌付けを行ってはいけないのか
5回目	野生動物とどう接するべきなのか。人馴れしたため射殺されてしまったヒグマや、減りつつあるニホンミツバチ等を例に考える
6回目	魚から哺乳類まで野生動物の生態調査と、展示するための捕獲と手続き及び飼育方法について
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	バードウォッチングのコツとマナー、野鳥の生態と観察する際に必要な機材について
9回目	自然観察会の際に気を付けるべき、野外の危険な生物とフィールドワークの際に危険を回避するテクニックについて
10回目	津田が取材に同行し、自然な状態で世界で初めての撮影に成功したヘラクレスオオカブトのNHK番組DVDを鑑賞し解説
11回目	飼育中のヘラクレスオオカブト成虫と幼虫を見ながら、飼育と繁殖のテクニックについて解説
12回目	津田が撮影に参加した東宝映画「日本列島いきものたちの物語」を鑑賞
13回目	エクアドルの動植物と保護管理の様子を、ユネスコ世界自然遺産第一号のガラパゴス諸島を中心に解説
14回目	前期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	バードウォッチングや野生動物が観察できるポイントを紹介しようと思うので、研修中飼育されている鳥獣を観察したり、休みの時は探鳥会に参加したり野生動物を観察しに出かけたりと、積極的に野生鳥獣の生態を学んで欲しい。そうすることで、将来自分が飼育担当することになるかもしれない動物の飼育管理の知識と、ストレスを与えず長生きして来場者を楽しませてもらえるヒントが得られると思う。
評価方法	中間評価試験20%、期末評価試験70%、授業内評価(授業に取り組む姿勢)10%で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

実際に現地へ出かけ撮影した写真や、テレビ番組の取材に参加して放映された番組、講義の資料として収集してきた動画のDVDを映写。毎週作成するテキスト資料。フィールドで拾い制作した標本や、骨に角に糞などのフィールドサイン

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	野生動物管理学 (Wild Animal Management)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	津田 堅之介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日2or3時限

【授業の学習内容】

基本的に津田が訪れた国内外のフィールドで実際に体験した内容を、津田が撮影した写真と取材に参加したり講義資料として最適であると集めてきた動画を見ながら解説。資料は、毎年フィールドで見聞きした最新情報や、話題となった実例を元に作った最新の資料を毎週配布し、感想や自分ならどう対応するかなどの意見も引き出しながら進める。

※実務経験者

動物写真家、エッセイスト

海外取材経験多数。東映東宝映画「日本列島 いきものたちの物語」ではシカの撮影を担当する等国内外で活躍する講師が授業を行う。

【到達目標】

職場において来訪者を楽しませ自分のファンを増やせられるように、経済動物に関しては生産性があげられるよう、どこに行っても通用する即戦力となる知識や、子供から大人までの幅広い層に分かりやすく解説出来る技術を身に付ける。卒業後も、日進月歩の飼育技術革新に絶えずアンテナを張り巡らせ、一生学び続けようという意識を持った、動物飼育の一流のプロフェッショナルであり続けようという自覚を育てたい。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ニホンジカの野生での生態と反芻獣ならではの気を付けるべき飼育管理
2回目	猛禽類の人工孵化から飼育管理 タカやハヤブサ類の調教とフリーフライトと狩り
3回目	ニホンザルの野生での生態を志賀高原で撮影されたNHKの番組を見ながら解説
4回目	ニホンザルの野生での生態と飼育上気を付けるべき点を津田撮影の写真を見ながら解説
5回目	出水のツルの生態と保護管理の歴史パート1 出水のツルを紹介した映像を見ながら解説
6回目	出水のツルの生態と保護管理の歴史パート2 津田撮影の写真と出水市史を資料に解説
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	頭骨を始めとする標本作りと皮鞣しの方法
9回目	ツシマヤマネコの生態と保護管理パート1 対馬の不思議な自然環境と生息する動物
10回目	ツシマヤマネコの生態と保護管理パート2 ヤマネコの習性と食性飼育管理上の注意点
11回目	中国の野生トキの生態と保護管理 中国の保護センターで撮影した写真を見ながら解説
12回目	ツキノワグマ親子の一年を記録した番組と東北の人食いグマの特集を鑑賞 クマの素晴らしさと怖さを知る
13回目	ネパールの自然と野生動物の生態および保護管理
14回目	後期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	ハードウォッチングや野生動物が観察できるポイントを紹介しようと思うので、研修中飼育されている鳥獣を観察したり、休みの時は探鳥会に参加したり野生動物を観察しに出かけたりと、積極的に野生鳥獣の生態を学んで欲しい。そうすることで、将来自分が飼育担当することになるかもしれない動物の飼育管理の知識と、ストレスを与えず長生きして来場者を楽しませてもらえるヒントが得られると思う。
評価方法	中間評価試験20%、期末評価試験70%、授業内評価(授業に取り組む姿勢)10%で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

実際に現地へ出かけ撮影した写真や、テレビ番組の取材に参加して放映された番組、講義の資料として収集してきた動画のDVDを映写。毎週作成するテキスト資料。フィールドで拾い制作した標本や、骨に角に糞な

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behavior Theory)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	PositiveWind 福島 みゆき・森 竜一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2or3時限

【授業の学習内容】

動物を飼育する現場で、動物が行動する理論「動物行動学」と「応用行動分析学」を理解することは、動物の福祉に基づいた配慮やお世話をする上で必要な理論である。まずは行動理論の基本をみにつけ、適切な観察眼を高め、自身の行動をより動物に親切に配慮できるよう、考える基本をみにつける。飼育動物のQOLをあげる。動物の行動について科学するするための、観察の方法、考え方の基本、生得的行動と習得的行動の全貌。また、環境の変化や人の介在で、動物が学習をする時の科学的理解。応用行動分析学の基本を理解する。

※実務経験者

犬の保育園・しつけ方教室PositiveWind経営(2005年より)、「正の強化」の方法でのおだやかな犬育ての経験多数。福岡県内各保健所での犬しつけ講師・愛玩動物飼養管理士スクーリング講師・下関動物愛護センター犬のしつけ講師・環境省や福岡県獣医師会から依頼の講師経験多数の講師が授業を行う。

【到達目標】

動物の行動について科学的に、しかも我々も同じ動物として行動を科学でき、自他ともに観察できるよう

- ①動物行動学の基本の理解
- ②応用行動分析学の基本の理解
- ③ワークショップを通じてこれらを自分の体験として理解する
- ④考える・話し合いをする・発表をする力の習得

授業計画・内容

1回目	行動とは 行動学とは
2回目	動物行動学・生得的行動と習得的行動
3回目	ワークショップ1 人の行動を生得的行動を習得的行動に分ける
4回目	反射(レスポネント行動)と 馴化と 古典的条件づけ(レスポネント条件づけ)
5回目	ワークショップ2 レスポネント行動の実験 レスポネント条件づけの実験
6回目	オペラント条件付け① 中間試験予習
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	オペラント条件づけ② 正の強化・負の強化
9回目	ワークショップ3 負の強化の行動例をあげる 負の強化の実験
10回目	オペラント条件づけ③ 正の弱化・負の弱化
11回目	ワークショップ4 負の弱化の行動例をあげる 負の弱化の実験
12回目	オペラント条件づけ④ 強化子と弱化子 確立操作
13回目	期末評価前演習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	ワークショップ5 正の強化の行動例をあげる 正の強化の実験

準備学習
時間外学習

学科で習った理論を、実生活で考えながら生活すると理解がより深まる。人間も動物なので、自分の行動を客観視すると楽しく学べる。

評価方法

定期テストにて知識・技能の到達評価を行う。
 ●中間テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の30%とする)
 ●期末テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の50%とする)
 授業姿勢評価を最高20ポイントとし、全ポイント合計を評価ポイントとする。

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書・「動物たちは何を考えている?—動物心理学の挑戦—」日本動物心理学会:発行所株式会社技術評論社 「行動分析学入門」杉山尚子:株式会社集英社

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behavior Theory)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	PositiveWind 福島 みゆき・森 竜一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日2or3時限

【授業の学習内容】

前期の「動物行動学」「応用行動分析学」の基本から、実生活の応用へ高めていく。具体的には、問題行動へのアプローチ、予防となるトレーニング理論・ハズバンドリートレーニングの理論と方法へ。

※実務経験者

犬の保育園・しつけ方教室PositiveWind経営(2005年より)、「正の強化」の方法でのおだやかな犬育ての経験多数。福岡県内各保健所での犬しつけ講師・愛玩動物飼養管理士スクーリング講師・下関動物愛護センター犬のしつけ講師・環境省や福岡県獣医師会から依頼の講師経験多数の講師が授業を行う。

【到達目標】

動物をトレーニングする方法を、理論として理解し、身近な動物へのトレーニングを計画し実行できるようになる。問題行動について理解、予防の配慮や予防のトレーニングのアイデアが出せるようになり実行できる。

授業計画・内容

1回目	トレーニングと行動分析学 問題行動と行動分析学 強化子・弱化子・消去
2回目	ワークショップ1 「消去」後の行動を考える 日常生活における強化子と弱化子を考える
3回目	消去の副作用 強化スケジュール
4回目	ワークショップ2 連続強化スケジュール 部分強化スケジュール 消去を体感する
5回目	機能分析 分化強化 テスト前演習
6回目	中間評価及び振り返り
7回目	シェイピング
8回目	ワークショップ3 クリックを使ったシェイピング
9回目	プロンプト 弁別刺激
10回目	ワークショップ4 プロンプト 弁別刺激
11回目	問題行動 嫌悪刺激への副作用とハズバンドリートレーニング
12回目	ワークショップ5 ハズバンドリートレーニングのSTEPを考える
13回目	期末評価前演習
14回目	後期末評価及び振り返り
15回目	クリックゲーム

準備学習 時間外学習	自分の担当の動物や、家で飼っている動物をトレーニングしてみよう。
---------------	----------------------------------

評価方法	定期テストにて知識・技能の到達評価を行う。 ●中間テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の30%とする) ●期末テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の50%とする) 授業姿勢評価を最高20ポイントとし、全ポイント合計を評価ポイントとする。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書・「動物たちは何を考えている?—動物心理学の挑戦—」日本動物心理学会:発行所株式会社技術評論社 「行動分析学入門」杉山尚子:株式会社集英社

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	クラフトワーク (Craft Work)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	山本雅一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3or4時限

【授業の学習内容】

飼育現場では様々な道具を使い、補修・メンテナンス・エンリッチメント用具の作成などを行う。動物の保定・荷物の固定などにロープワークは欠かせない。また、ケージ作成・動物輸送箱作成・オリジナルグッズ作成では、作りたいものを適切に伝える力として、図面作成が必要になる。この授業では基本的な工具の使い方・メンテナンス方法、基礎的なロープワーク実習、材料の種類と選び方、図面の書き方、木材加工などを学ぶ。座学と演習の組み合わせ形式で授業を進める。

※実務経験者

ふれあい動物園 ピクニカ共和国 園長。園内での動物園業務だけでなく年間を通して移動動物園も多数実施。動物の飼育だけでなくロープワークや工具の知識、動物園運営の知識が豊富な講師が授業を行う。

【到達目標】

- 基礎的なロープワークの習得(末端処理 クラウンノット・アイスブライスができるようになる/簡易頭絡が作れる/もやい結びができる)
- 作りたいものを伝える力 (三角法による図面の書き方を習得し、合板を使った箱の図面が書けるようになる)
- 工具の適正使用とメンテナンスが行える(ハンマー ノコギリ ドライバー 差し金 水平器 電動ドリル インパクトドライバー ジグソー 丸鋸)
- 作るものにより材料を適切に選び、予算を出せるようになる
- 塗装面による塗料選びができるようになる
- マスキング・養生が適切にできるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	基本的な工具の名称・使い方・メンテナンス方法を覚え、実際に使用してみる。 +ドライバー・ビス(ネジ)・2×4材
2回目	ロープワーク ロープの末端処理 (クラウンノット・バックスブライス・アイスブライス)が出来るようになる。
3回目	ロープワーク 基本的なロープの 結び方 (もやい結びや荷物の固定方法)が出来るようになる。
4回目	ロープワーク 馬用・牛用の 簡易頭絡 が作れるようになる。
5回目	作りたいものを伝える力を身につける 三角法による 図面の作成 100mm×100mmの正六面体を12mm厚の合板を使うと仮定し設計
6回目	作りたいものを伝える力を身につける 三角法による 図面の作成 作りたいものをデザインし、図面に起こし、使用予算を出す。
7回目	正六面体を合板で作成 直線カット 合板の種類と選び方 差し金とノコギリの使い方を覚え、合板に図面を引きノコギリでカット。ジグソー・丸鋸の解説
8回目	正六面体を合板で作成 研磨 やすりの種類と使い方 接着剤の種類と使い方選び方 カットした材料を紙やすりでサイズを揃える
9回目	正六面体を合板で作成 接合 ドライバーとビス(木ネジ)・接着剤を使い合板を接合。ドライバーとビスのサイズの適合の重要性を理解
10回目	合板で文字を作成 曲線のカット 糸鋸を使い、合板を文字や動物の形に切りぬき、曲線に物を切れるようになる。ルーターの解説
11回目	切り抜いたものを 塗装 塗料の種類を知り、どの材にはどの塗料が適切か マスキング・養生等の下準備を行い塗装する。
12回目	羊毛の加工 羊毛の刈りの方法・バリカンの使い方とメンテナンス 羊毛の洗浄とした処理
13回目	羊毛の加工 羊毛のフェルト化 ニードルを使った方法 石鹼水を使った方法 マスコット・ストラップ作り
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	前期のまとめ
準備学習 時間外学習	ロープワークは反復練習しないと身につかないので、講義終了後ロープを渡します。各自、資料を見ずにできるようになるまで練習すること。
評価方法	テスト70% 授業内評価 30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	クラフトワーク (Craft Work)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	山本雅一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3or4時限

【授業の学習内容】

飼育現場では様々な道具を使い、補修・メンテナンス・エンリッチメント用具の作成などを行う。動物の保定・荷物の固定などにロープワークは欠かせない。また、ケーシング作成・動物輸送箱作成・オリジナルグッズ作成では、作りたいものを適切に伝える力として、図面作成が必要になる。この授業では基本的な工具の使い方・メンテナンス方法、基礎的なロープワーク実習、材料の種類と選び方、図面の書き方、木材加工などを学ぶ。座学と演習の組み合わせ形式で授業を進める。

※実務経験者

ふれあい動物園 ピクニカ共和国 園長。園内での動物園業務だけでなく年間を通して移動動物園も多数実施。動物の飼育だけでなくロープワークや工具の知識、動物園運営の知識が豊富な講師が授業を行う。

【到達目標】

- 包丁 鎌を研げるようになる。
- 物の接合、固定が出来るようになる。
- アクリルの加工を習得し小さな水槽が作れるようになる。
- 自動車の仕組みを理解し、最低限のメンテナンスが行える。
- 塩ビパイプの接合が出来るようになる。用途による材質の違いが分かるようになる。

授業計画・内容

1回目	自動車の仕組みとメンテナンス 命を預ける自動車の適切な使用方法・メンテナンス・荷の固定方法
2回目	柵の補修ができるようになる。 番線の締め方 シノの使い方 バイククランプの使い方 クリッパーの使い方
3回目	刃物が研げるようになる。 砥石を使い、ナイフ・包丁・鎌を研ぐ。銃刀法を知り、刃物の適切な所持を行う。
4回目	木材の加工 切り出しナイフを使い、木材・竹を加工してみる。
5回目	接合 接着剤を使わずに物を接合する方法をやってみる。 リベット打ちを体験する。
6回目	塩ビパイプの種類と接合方法 水道管の補修や、蛇口の水漏れ修理ができるようになる。 動物用フィーダーを塩ビパイプで作ってみる。
7回目	破れを防ぐために穴の周りを補強するハトメ加工ができるようになる。ラミネーターの使い方とラミネートフィルムのハトメ加工も行う。
8回目	測る 精密計量秤 水平器 メジャー ノギス 非接触体温計 血中濃度酸素計 飼育や物作りに必要な情報を得るための手段をしり、測定してみる。
9回目	電気の仕組み 電気工事士の資格がなくても出来る軽微な作業を体験する。電球交換時の注意点。
10回目	アクリルミニ水槽を作る 2mm厚の4サイズアクリル板を使いミニ水槽作成 材料の余りゼロを目標に設計する。
11回目	アクリルミニ水槽を作る アクリルカッターを使いカットしサイズを合わせる
12回目	アクリルミニ水槽を作る 紙やすりでアクリルを研磨し、サイズを完璧に合わせる。
13回目	アクリルミニ水槽を作る セロハンテープで仮組し、アクリル専用接着剤で接合する。 水漏れがなければ完成。
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	後期のまとめ

準備学習
時間外学習

評価方法

テスト70% 授業内評価 30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の栄養 (Nourishment of Animal)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	中本 教一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3or5時限

【授業の学習内容】

動物が必要とする栄養素と飼料に含まれる栄養素について学び、次に消化と吸収に関して動物による消化管の違いと特徴を知り、代表的な飼料の特徴を学ぶ。続いて、飼料の組み立てに必要な知識と養分計算を学び、飼料配分に取り組む。

※実務経験者

酪農大学教師、肉牛の肥育を経て1982年「中本乗馬倶楽部」を設立、先代オーナー。日本馬術連盟公認1級審判、全国乗馬倶楽部指導員である講師が授業を行う。

【到達目標】

各栄養素についてその特徴が理解できた上で、自身で飼料の組み立てに取り組めるようにその基礎となる知識と養分計算の仕方を習得する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の概要、目的、内容の説明。(1)飼料摂取の目的
2回目	(2)体成分と栄養素 ①体成分 ②水
3回目	(2)体成分と栄養素 ③タンパク質・必須アミノ酸
4回目	(2)体成分と栄養素 ④炭水化物 ⑤脂質
5回目	(3)体成分と栄養素 ⑥ビタミン(脂溶性ビタミンと水溶性ビタミン)
6回目	(4)体成分と栄養素 ⑥ビタミン
7回目	中間評価及び振り返り (2)体成分と栄養素 ⑦ミネラル(多量元素と微量元素)
8回目	(2)体成分と栄養素 ⑦ミネラル
9回目	(3)栄養と飼料 ①各家畜が好む飼料と消化管の特徴
10回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収
11回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(消化管の構造と役割:単胃動物)
12回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(消化酵素)
13回目	(3)栄養と飼料 ②消化と吸収(反芻動物・鶏の消化管の構造と役割)
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ①飼料成分による栄養価とその特徴

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験(80%)、授業内評価(20%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考プリント、プロジェクター

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の栄養 (Nourishment of Animal)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	中本 教一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日3or5時限

【授業の学習内容】

動物が必要とする栄養素と飼料に含まれる栄養素について学び、次に消化と吸収に関して動物による消化管の違いと特徴を知り、代表的な飼料の特徴を学ぶ。続いて、飼料の組み立てに必要な知識と養分計算を学び、飼料配分に取り組む。

※実務経験者

酪農大学教師、肉牛の肥育を経て1982年「中本乗馬倶楽部」を設立、先代オーナー。日本馬術連盟公認1級審判、全国乗馬倶楽部指導員である講師が授業を行う。

【到達目標】

各栄養素についてその特徴が理解できた上で、自身で飼料の組み立てに取り組めるようにその基礎となる知識と養分計算の仕方を習得する。

授業計画・内容

1回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ②栄養価の表し方(タンパク質、エネルギー)
2回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ③飼料と特徴(粗飼料と濃厚飼料)
3回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ④粗飼料の種類と特徴(牧草類、野草類、青刈作物他)
4回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑤粗飼料の貯蔵方法(乾草、サイレージ)
5回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(・穀類、大麦、トウモロコシ)
6回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(・穀類、エン麦、小麦、米、ヌカ、フスマ類)
7回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(・油粕類、製造粕類、動物質飼料他)
8回目	(4)飼料設計に必要な基礎知識 ⑥濃厚飼料の種類と特徴(・配合飼料) ⑦飼料のスライド説明
9回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ①飼養標準 ②栄養価と単位 ③給与量
10回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ④豚の飼料給与を考える(練習例:繁殖育成豚)
11回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(給与日量、飼料内容)
12回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(例題問題:育成馬)
13回目	(5)飼料の配合内容と給与量を考える ⑤馬の飼料給与を考える(成長後の馬の場合、例題問題)
14回目	後期評価及び振り返り
15回目	まとめの話

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	筆記試験(80%)、授業内評価(20%)
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考プリント、プロジェクター、DVDプレーヤー

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンパニオンアニマル (Companion animals)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	川島 秀樹
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3・4時限

【授業の学習内容】

犬猫の歴史についてはペットショップで生体販売するときに顧客に説明できるよう世界的な流れを学ぶ。また、ショップ以外の動物園他の関連業務でも説明の必要が出てくるのでペット化した流れを習得する。とくに猫は近年の「猫ブーム」とともに飼育家庭が増加傾向にあるため適正な飼育管理ができるよう体のつくりや習性・行動を学ぶとともにワクチンワーク等も「なぜ必要か?」「いつ必要か?」を他者に説明できるよう知識の習得を図る。

※実務経験者

2003年よりペットショップ開業・経営～現在に至る。2001年より日本FP協会所属のファイナンシャルプランナーとしても活動する講師が授業を行う。

【到達目標】

ペットショップはもちろん、他の動物関連職業でも応用できるように犬・猫の家畜化の歴史、本来持つべき行動・習性、その為の体のつくりのほかストレスの少ない飼育管理に必要な知識と適応能力を身に付け、顧客にアドバイスできるようになる。

具体的な目標① 動物(特に犬や猫)の家畜化までの歴史を学び、顧客に説明できるようになる。

具体的な目標② 猫の習性や行動を知り、適正な飼育管理方法を顧客にアドバイスができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容の説明、スケジュール紹介・評価基準説明と各自の自己紹介
2回目	犬猫の歴史①(ミアキスからペットとしての犬猫までと人間との関わり)
3回目	犬猫の歴史②(人間との共生・古代から近代)
4回目	犬猫の歴史③(使役動物としての犬、ペットとしての猫)
5回目	犬猫の歴史の総括、猫の体の疑問(グループワーク)
6回目	中間評価及び振り返り
7回目	猫の体①(骨格・筋肉等)
8回目	猫の体②(感覚器)
9回目	猫の体③(感覚器としてのヒゲの役割)
10回目	猫の体総括、修正・行動の疑問(グループワーク)
11回目	猫の行動・習性①(テリトリー等)
12回目	猫の行動・習性②(マーキング等)
13回目	猫の行動・習性③(コミュニケーション等)
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	猫のまとめ
準備学習 時間外学習	この授業においては各単元ごとの初めにオリジナルプリント(犬猫の歴史・猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)を配布する。その為、事前に目を通しておくことが大切。また、各論として内容により次週学習することの一部を下調べしておくことを授業中に発表する(ネット等で簡単に調べられるもの)ので準備学習を要する。
評価方法	前期末の評価テストを中心にする(内容は前期に学習したこと全部)・・・60% 授業態度・中間テスト・・・40% を基本とし、積極的な授業参加態度・発言内容・グループワークでの協力姿勢等を総合的に勘案し評価する。

【使用教科書・教材・参考書】 □

オリジナルプリント(猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)、ブルーレイディスク等

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンパニオンアニマル (Companion animals)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	川島 秀樹
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3・4時限

【授業の学習内容】

当たり前知っているであろう犬という動物について専門家としてペットショップで生体販売するときに顧客に説明できるよう「体のつくり」「本能に基づく習性・行動」を学ぶ。また、ショップ以外の動物園他の関連業務でも説明の必要が出てくるので他の動物との比較も習得する。とくに犬は人との関わりが最も古い動物として人間社会での共生の実態を学習するとともに、適正な飼育管理ができるよう体のつくりや習性・行動を学ぶ。また、ワクチンワーク等も「なぜ必要か?」「いつ必要か?」を他者に説明できるよう知識の習得を図る。更に、犬猫の病気・ズノーシスについても動物業務に携わる者として知っておくべきことを習得する。

※実務経験者

2003年よりペットショップ開業・経営～現在に至る。2001年より日本FP協会所属のファイナンシャルプランナーとしても活動する講師が授業を行う。

【到達目標】

ペットショップはもちろん、他の動物関連職業でも応用できるように犬・猫の家畜化の歴史、本来持つべき行動・習性、その為の体のつくりのほかストレスの少ない飼育管理に必要な知識と適応能力を身に着ける。

具体的な目標① 犬の習性や行動を学び、顧客に説明できるようになる。

具体的な目標② 犬の体のつくりを理解し、顧客にアドバイスができるようになる。

具体的な目標③ 犬猫の病気・ズノーシスを学習し、動物業務従事者として適正な飼育管理ができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	犬という動物の本能
2回目	犬の行動・習性①(本能に基づく行動)
3回目	犬の行動・習性②(動物業務従事者としての実務)
4回目	犬の行動・習性③(まとめ)グループワーク
5回目	犬の体①(骨格・筋肉等)
6回目	犬の体②(感覚器等)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	犬の体③(生理値の観察・測定方法、まとめ)
9回目	人と犬の社会(人との関わり、使役・産業動物)
10回目	犬猫の病気①(感染症、対策としてのワクチン)
11回目	犬猫の病気②(寄生虫等外部要因)
12回目	犬猫の病気③(中毒や現代疾患)
13回目	ズノーシス
14回目	後期評価及び振り返り
15回目	犬・病気のまとめ(グループワーク)

**準備学習
時間外学習**
この授業においては各単元ごとの初めにオリジナルプリント(犬猫の歴史・猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)を配布する。その為、事前に目を通しておくことが大切。また、各論として内容により次週学習することの一部を下調べしておくことを授業中に発表する(ネット等で簡単に調べられるもの)ので準備学習を要する。

評価方法
期末の評価テストを中心にする(内容は後期に学習したこと全部)・・・60% 授業態度・中間テスト・・・40% を基本とし、積極的な授業参加態度・発言内容・グループワークでの協力姿勢等を総合的に勘案し評価する。

【使用教科書・教材・参考書】 □

オリジナルプリント(猫の百科事典・猫学教本等からの抜粋で作成)、ブルーレイディスク等

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	アニマルベーシック (Basic Animal Study)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	伊藤 悠介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1時限・2時限

【授業の学習内容】

動物業界に身を置く上で、分野に関わらず基礎的な生物知識を持つ事が大切である。この科目では、様々な動物、環境と関わる中で重要となる公衆衛生や、注意すべき感染症、生物が持つ環境や病気への免疫等について学ぶ。

※実務経験者

九州大学大学院にてウイルス感染症の研究を行っている講師が、授業を実施する。

【到達目標】

- ①生物多様性について理解し、説明できる。
- ②DNA・タンパク質について理解し、説明できる。
- ③生物の進化・分類について理解し、説明できる。
- ④病気・免疫・公衆衛生について理解し、説明できる。
- ⑤飼料・五大栄養素について理解し、説明できる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション
2回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 1回目
3回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 2回目
4回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 3回目
5回目	病気・公衆衛生・免疫 第1回目
6回目	病気・公衆衛生・免疫 第2回目
7回目	病気・公衆衛生・免疫 第3回目
8回目	中間評価及び振り返り
9回目	代謝・血液 第1回目
10回目	代謝・血液 第2回目
11回目	代謝・血液 第3回目
12回目	運動・分泌・五大栄養素 第1回
13回目	運動・分泌・五大栄養素 第2回
14回目	運動・分泌・五大栄養素 第3回
15回目	前期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

レポート提出・評価: 50%
授業参加度: 50%

【使用教科書・教材・参考書】 □

ECO業界で役立つ基礎生物(株式会社滋慶出版)

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日5時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

各臓器の正常な状態(形・位置・色・機能など)を学ぶ。体のしくみ、と聞くと、各部位の名称を覚えることが中心で、健康管理とは縁遠い印象があるかもしれないが、現場で行う健康管理と関連がある。例えば、歯の構造を学ぶことによって、歯のケアを行うときの注意点や、口内に起きやすい問題と対策方法がわかる。教科書には、その部分に多い病気についても記載があるので、正常な機能と比較をしながら解説を行う。

※実務経験者

神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。

【到達目標】

- ①各臓器の正常な形・位置・色・機能などを理解し、説明することができる。
- ②各臓器の正常(健康)時と異常(病気)時の違いを比較し、説明することができる。
- ③現場で動物の健康チェックを行う時に、異常に気づくことができる 病気の動物に対するケアに活用することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的・進め方、骨格系について①
2回目	骨格系について② 外皮系について①
3回目	外皮系について② 消化器系について①
4回目	消化器系について②
5回目	消化器系について③
6回目	消化器系について④
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	泌尿器系について①
10回目	泌尿器系について② 呼吸器系について①
11回目	呼吸器系について② 循環器系について①
12回目	循環器系について②
13回目	感覚器系について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40% ●期末評価試験40% ●出席及び授業態度20%の割合で評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書
滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の体のしくみ」

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の健康管理 (Healthy Management of Animals)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5時限、金曜日3時限
<p>【授業の学習内容】 動物を観察する(健康チェックを行う)ときの具体的な方法と判断基準(正常(健康)と異常(病気)の違い)、病気にさせないための手段(予防)について学習する。</p> <p>※実務経験者 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①健康チェックを行うときの具体的な方法と判断基準について理解できる、予防の内容と注意点について理解できる。 ②健康チェックを動物に行うことができる。 ③動物の変化に気づくことができる、動物を病気にさせない環境をつくり、病気にさせないための対策を立てることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的、進め方、動物園動物の健康管理の特徴①
2回目	動物園動物の健康管理の特徴②
3回目	診察・治療の工夫、動物の全身の健康チェック①
4回目	動物の全身の健康チェック②
5回目	動物の全身の健康チェック③
6回目	診察・治療の工夫、保定の基本と注意点について
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	応急手当について
10回目	動物園で行われている予防について①
11回目	動物園で行われている予防について②
12回目	動物園で行われている予防について③
13回目	動物園で行われている予防について④
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話しするで、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40% ●期末評価試験40% ●出席及び授業態度20%の割合で評価
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>参考書 社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	次世代のための環境教育 (Environmental study for Next Generation)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	大橋 光雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2・3時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解し、ジレンマや事例研究を参考にトリレンマ懸案をどのようにコンセンサス(consensus)していくかワークショップ(workshop)を用い、読み解く力をつける。

※実務経験者

1977年九州産業大学卒業後、アメリカの「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学経験を持つ。キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンパイベントや執筆、普及活動に携わる。2004～2017年には福岡県キャンプ協会会長も務めた講師が授業を行う。

【到達目標】

環境自分たちの業界のことと環境問題の概略を知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。その上で主に9の категорияで環境教育を紐解き多様な考えや社会経済との結びつきを考えることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的
2回目	世界の環境問題1(地球温暖化)メカニク
3回目	世界の環境問題2(生物多様性とは)仕組みと身近な事例
4回目	世界の環境問題3
5回目	世界の環境問題4(ゴミ問題～食糧問題)
6回目	環境問題の啓発者の探る1 Severn Cullis-Suzuki リオの伝説のスピーチを読み解く
7回目	環境問題の啓発者の探る2 世界の環境教育の流れ「ベオグラート憲章」
8回目	日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」日本型の検証
9回目	環境教育における環境倫理 酸性雨・海洋汚染
10回目	環境教育における環境倫理 有害廃棄物の越境移動
11回目	環境教育における環境倫理 野生生物種の減少1
12回目	環境教育における環境倫理 野生生物種の減少2
13回目	環境教育における環境倫理 ジレンマからトリレンマ 砂漠化
14回目	理解動の確認 Q&A 環境クイズ
15回目	前期振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

定期試験50%、成果発表25%、受講態度25%とする

【使用教科書・教材・参考書】 □

適宜 資料を配布する。
アクティブラーニングESD(Education for Sustainable Development) SDGs
(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)等を用いる。

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	次世代のための環境教育 (Environmental study for Next Generation)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	大橋 光雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2・3時限

【授業の学習内容】

環境問題の概略を理解し、その解決に向けて主に社会や職場で環境教育に関する話ができるように現場を念頭に置いて授業を行う。

※実務経験者

1977年九州産業大学卒業後、アメリカの「THE NATIONAL OUTDOOR LEADERSHIP SCHOOL」へ留学経験を持つ。キャンプディレクター1級とプロジェクトワイルド上級指導者資格を有し、多くのキャンパイベントや執筆、普及活動に携わる。2004～2017年には福岡県キャンプ協会会長も務めた講師が授業を行う。

【到達目標】

環境問題の概略を知り、環境教育の必要性と目的を理解する。また、自然環境の一員としての人間の位置づけを環境倫理の面から掘り下げて考察する。その上で主に職場中で環境教育を実践できるようになると同時に社会での教育活動の中でもどのような活動ができるか考えることができるようになる。

授業計画・内容

1回目	ガイダンス・環境教育の必要性と目的 ESD SDGs
2回目	世界の環境問題1(地球温暖化、酸性雨など)
3回目	世界の環境問題2(オゾン層の破壊、生物多様性減少など)
4回目	世界の環境問題3(エネルギー問題、人口・食糧問題)
5回目	レイチェル・カーソンとアメリカの環境教育
6回目	環境系ゲームとセンス・オブ・ワンダー
7回目	環境教育における環境倫理 CSR CSV(企業の社会的責任)
8回目	世界の環境教育の流れ「アメリカの環境保護活動」
9回目	日本の環境教育の流れ「関心・理解・行動」
10回目	就職現場での環境教育の位置づけと課題「観光地の環境問題」
11回目	就職現場での実践1(全体計画、年間指導計画、(1))
12回目	就職現場での実践2(全体計画、年間指導計画、(2))
13回目	現場での環境問題と私たちにできること ISO ルール決め
14回目	理解度の確認 Q&A 環境クイズ
15回目	後期振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

定期試験50%、成果発表25%、受講態度25%とする

【使用教科書・教材・参考書】 □

適宜 資料を配布する。
アクティブラーニングESD(Education for Sustainable Development) SDGs
(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)等を用いる。

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	アニマルヒストリー (History of Animals and Human)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	村田 倫子
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日2・3時限目

【授業の学習内容】

人と動物の歴史を学び、現在の状況を見直し、今後について考える。

※実務経験者

大野城市白水警察犬訓練学校にて警察犬訓練士の勉強に取り組む。P2&Associates株式会社において鳥、小動物飼育責任者、と店長、営業を経験。OPDESプロフェッショナルドッグトレーナー、アジリティインストラクターの資格を持ち、現在は家庭犬訓練、しつけ、パピートレーニングなどに取り組む講師が授業を行う。

【到達目標】

過去→現在→未来にわたる動物と人との関係性を考え、自分の考えを表現できるようになる。他の意見を聞き、考えを深めていく。

授業計画・内容

1回目	授業の進め方 ディスカッションとディベート
2回目	第1章 生命の誕生と進化の歴史
3回目	ディスカッション 遺伝子工学について
4回目	第2章 人の暮らしと動物の関係
5回目	ディスカッション 動物園のあり方
6回目	第3章 ペット事情とビジネス
7回目	ディベート 動物の命と経済
8回目	第4章 人の心と動物セラピー
9回目	ディベート 動物セラピー
10回目	第5章 人の社会で働く犬
11回目	ディスカッション 使役犬と愛玩犬
12回目	第6章 産業や文化としての役割
13回目	ディベート 家畜と動物愛護
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業の進行に従ってディスカッションをするので、事前に調べ、自分の意見をまとめ発表できるように整理しておく。
評価方法	期末テスト70%、授業内評価参加度30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書
滋慶教育科学研究所「アニマルヒストリー」

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物関連法規 (Related Laws and Regulation)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	津田 堅之介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

法律という難解なイメージがあると思うため、津田作成の資料と一般のニュースでも取り上げられた事例、そして取り上げられた番組の映像を基に分かりやすく、そして毎年現状に合わせて変更が行われる場合があるため、今年の最新の内容を伝えるのみならず、今後も自分で最新情報が得られる方法を理解できるよう指導する。

※実務経験者

動物写真家、エッセイスト

海外取材経験多数。東映東宝映画「日本列島 いきものたちの物語」ではシカの撮影を担当する等国内外で活躍する講師が授業を行う。

【到達目標】

動植物飼育のプロフェッショナルとして業務上動物とかかわっていくためのみならず、実生活を送る上においても必要不可欠な動物に関連する法律の知識を身に着け、動植物の飼育管理と販売を行う際に特に必要な、動物愛護管理法、外来生物管理法そして国際取引を行うために必要なワシントン条約、国内では根絶されたものの輸入された動物から発症する恐れのある狂犬病に関して理解し、万が一の場合でも冷静沈着に対応出来るよう、そして自分自身が法を犯さないことはもちろんのこと、周りの一般の方々にもわかりやすく法律を理解浸透させられるようになることを目指す。

授業計画・内容

1回目	これから学んでいく法律と、動物の飼育や野生動物と接する上でなぜ法律を定める必要があるのかを、DVDと最近話題のニュースを見ながら解説
2回目	後のコマの野生動物管理学と連続で和歌山県太地町で行われているイルカ漁を取り上げた「クジラと生きる」と、アメリカの環境保護団体が同じ場所で撮影し作った映画「The Cove」を鑑賞し、日本人と欧米人の自然観の違いについて考えてもらう
3回目	野生動物とかかわり、動物を飼育する際に関係する法律総論
4回目	動物の愛護と管理に関する法律、基本原則から動物取扱業者に関する解説まで
5回目	動物の愛護と管理に関する法律、特定動物と改正された最新情報と違反事例
6回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律が定められた理由を理解するため、現在各地での外来種による影響を紹介した番組のDVDを鑑賞
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part1
9回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part2. 罰則と飼育が許可される例外と手続きの方法
10回目	特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律解説Part3. アライグマを始めとする駆除を行う場合のルールについて動画を見ながら解説
11回目	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する(ワシントン)条約」についてPart1
12回目	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する(ワシントン)条約」についてPart2
13回目	狂犬病予防法について。患者の記録動画を見て、海外に出かけた時の注意点と国内で確認された場合の対応を解説
14回目	前期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	昨年のお笑いタレントモト冬樹の鳥獣保護法違反騒ぎなど、一般生活をしていてもかかわってきてニュースとなりますが、一般の方々には意外と浸透していなかったり、法律に対して反発を覚える人もいるため、普段から動物に関連する法律に関する事件の情報を集め、まず自分が理解して一般に方々に分かりやすく解説出来るように普段から興味を持って欲しいと思います。特にショップや国際取引を業務として行う人には絶対に必要な知識ですし、種の保存法や外来生物防除法は法人が違反すると罰金が一億円と高額ですので、自分の職場を潰すことになることに繋がることもあることを理解して、身近なところで違反していないかも考えて欲しい。
評価方法	中間評価試験20%、期末評価試験70%、授業内評価(授業に取り組む姿勢)10%で総合的に評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

津田が撮影した写真や動画、解説で出演した番組と講義の資料として収集してきた動画のDVDを映写。
最新記事も入れながら自身で作成したテキスト資料

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物園飼育論 I (Zoo Keeping Theory I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日2・3時限

【授業の学習内容】

日本動物園水族館協会発行のテキストを基に、動物園の歴史と目的、使用動物の生態、危機管理、分類、学名、個体識別、哺乳類・鳥類・両生爬虫類の生理等について講義、観察、演習、実習を行う。

※実務経験者

1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践してきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術の基礎となる知識を修得する。
学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	動物園の歴史と存在意義、日本動物園水族館協会の活動(新飼育ハンドブック③p1～13)
2回目	動物の生態Ⅰ：分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック③p14～15、p127～131)
3回目	動物の生態Ⅱ：国内種の分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック⑤p15～17)
4回目	危機管理Ⅰ：事故防止と脱出防止(新飼育ハンドブック⑤p1～23)
5回目	危機管理Ⅱ：飼育従事者の感染症予防(新飼育ハンドブック③p33～44)
6回目	動物の分類：分類学、国際動物命名規約、個体の識別(新飼育ハンドブック③p33～54)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	哺乳類の生理Ⅰ：消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③p59～70)
9回目	哺乳類の生理Ⅱ：神経、血液、呼吸、感覚器官。内分泌と繁殖(新飼育ハンドブック③p59～70)
10回目	鳥類の生理Ⅰ：羽毛、消化と吸収、体温、気嚢と肺(新飼育ハンドブック③p71～85)
11回目	鳥類の生理Ⅱ：神経、血液、感覚器官、内分泌と繁殖生理(新飼育ハンドブック③p71～86)
12回目	鳥類の生理Ⅲ：有精卵の観察、ふ卵器の構造と操作実習(新飼育ハンドブック③p71～87)
13回目	両生類、爬虫類の生理：消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③p86～90)
14回目	昆虫の生理：体のしくみ、感覚器官、繁殖、ミツバチのコミュニケーション(新飼育ハンドブック③p97～104)
15回目	前期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験70% 授業内評価(課題への取組み、小テスト)30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック動物園編①、③、⑤、資料編

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物園飼育論Ⅱ (Zoo Keeping Theory Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2・3時限

【授業の学習内容】

テキスト類を基に、主に繁殖管理(飼料の見方、個体の記録、均衡劣化対策、出産予定日の特定等)や病気の予防と対応(疾病の種類、観察法、発生時の対応等)について講義、観察、演習を行う。さらに動物園雑誌記載の事例を学び実践的知識を深める。

※実務経験者

1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践してきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術のより実践的知識を修得する。
学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	繁殖管理Ⅰ：繁殖関係資料の見方(新飼育ハンドブック①p1～42、資料編)
2回目	繁殖管理Ⅱ：個体カードと近交劣化対策(新飼育ハンドブック①p1～42)
3回目	繁殖管理Ⅲ：繁殖行動の観察と出産予定日の計算(新飼育ハンドブック①p1～42)
4回目	飼料給餌Ⅰ：給餌一覧表の見方(新飼育ハンドブック①p43～85)
5回目	飼料給餌Ⅱ：飼料の種類と栄養(新飼育ハンドブック①p43～85)
6回目	飼料給餌Ⅲ：給餌表作成演習(新飼育ハンドブック①p43～85)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	病気の予防と対応Ⅰ：病気けがの種類(新飼育ハンドブック①p86～92)
9回目	病気の予防と対応Ⅱ：予防と日常観察の方法(新飼育ハンドブック①p86～92)
10回目	病気の予防と対応Ⅲ：発生時の対応(収容、治療等)(新飼育ハンドブック①p86～92)
11回目	トレーニング：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
12回目	展示と環境エンリッチメント：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
13回目	教育、研究、広報：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
14回目	動物園に関する条約、法令、団体(JAZA雑誌 Vol50～60)
15回目	後期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験70% 授業内評価(課題への取り組み、小テスト)30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック動物園編①、④、⑤、資料編

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	古川 高直
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
				曜日・時限	火曜日2・3時限		

【授業の学習内容】

家畜とは人の役に立つ動物であり、その歴史と生態および管理法を学び、他の大型動物等にも応用できる知識、能力を身につける。また、関連法規等の学習や家畜人工授精師の学術応用にも触れることにより、より現場を見据えた授業を行う。

※実務経験

1988年～現在まで、社会福祉法人若楠 どんぐり村(旧 株式会社どんぐり村)に所属し、乳牛や馬、小動物などの動物の飼育、園内イベントの企画、運営に携わり、観光牧場における様々な基礎知識、ノウハウを培う。また、現 社会福祉法人若楠 どんぐり村においても、就労継続支援A型事業の職業指導員として、各動物の飼育業務はもちろん、障がいを持たれた方々と共に、日々の業務を行う。

【到達目標】

全家畜の品種と特徴、利用目的、飼育に必要な道具の説明、健康管理、疾病、繁殖について、現場で必要な知識を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	1年間の授業の流れ、家畜授業の目的、注意点等の説明
2回目	家畜の歴史とゼビュー種、咬傷事故の対応
3回目	家畜の防疫(鳥インフルエンザ、口蹄疫、牛トレーサビリティー)
4回目	身近な鳥類、養鶏の体の仕組みと品種
5回目	鶏(卵用、肉用)の一生、家畜の寿命
6回目	中間評価及び振り返り
7回目	家畜の採血と鶏の精子について
8回目	鶏の生殖器、ふ化について
9回目	養豚の歴史と品種、世界のイノシシ
10回目	代表的な豚の品種と改良、習性、行動
11回目	豚の繁殖、仔豚の管理
12回目	PSE豚とSPF豚、オーエスキー病について
13回目	実物の家畜飼料と他の動物への応用
14回目	ホースセラピー、アルビノと白変種
15回目	期末評価及び振り返り
準備学習 時間外学習	(前提) 出席日数、授業中の態度も評価の対象とする。まずは、出席すること。 また、使用テキスト(家畜飼育の基礎)の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。 授業前後の質問も、気軽に行ってほしい。
評価方法	筆記試験：80% 授業内評価(授業態度、発表)：20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

- ・農文協「家畜飼育の基礎」
- ・実際の家畜道具

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	古川 高直
	専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

家畜とは人の役に立つ動物であり、その歴史と生態および管理法を学び、他の大型動物等にも応用できる知識、能力を身につける。また、関連法規等の学習や家畜人工授精師の学術応用にも触れることにより、より現場を見据えた授業を行う。

※実務経験

1988年～現在まで、社会福祉法人若楠 どんぐり村(旧 株式会社どんぐり村)に所属し、乳牛や馬、小動物などの動物の飼育、園内イベントの企画、運営に携わり、観光牧場における様々な基礎知識、ノウハウを培う。また、現 社会福祉法人若楠 どんぐり村においても、就労継続支援A型事業の職業指導員として、各動物の飼育業務はもちろん、障がいを持たれた方々と共に、日々の業務を行う。

【到達目標】

全家畜の品種と特徴、利用目的、飼育に必要な道具の説明、健康管理、疾病、繁殖について、現場で必要な知識を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	乳牛の一生と、品種、国内飼養頭数
2回目	乳製品、乳質、乳量について
3回目	牛の発情、人工授精(道具での説明)
4回目	後代検定、牛群検定、牛の改良
5回目	牛の妊娠、難産、助産、及びローブワーク
6回目	初乳管理、反芻における胃の仕組み
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	肉用牛の一生と、品種、国内飼養頭数
9回目	肉牛の管理、肉質、オーロックス等の世界の牛について
10回目	牛の疾病、反芻獣の共通疾病
11回目	馬の品種、「いのちをいただく」についてのグループディスカッション
12回目	馬の管理、在来馬の現状
13回目	羊、山羊の一生と、その管理、疾病について
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ(家畜動物とは)
準備学習 時間外学習	(前提) 出席日数、授業中の態度も評価の対象とする。まずは、出席すること。 また、使用テキスト(家畜飼育の基礎)の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。 授業前後の質問も、気軽に行ってほしい。
評価方法	筆記試験：80% 授業内評価(授業態度、発表)：20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

- ・農文協「家畜飼育の基礎」
- ・実際の家畜道具

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	エキゾチックアニマル	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	村田 倫子
	(Exotic Animals)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻					曜日・時限	火曜日2or3時限目

【授業の学習内容】

エキゾチックアニマルの生態、行動を学び、飼育管理の基礎を習得する。

※実務経験者

大野城市白水警察犬訓練学校にて警察犬訓練士の勉強に取り組む。P2&Associates株式会社において鳥、小動物飼育責任者、と店長、営業を経験。OPDESプロフェッショナルドッグトレーナー、アジリティインストラクターの資格を持ち、現在は家庭犬訓練、しつけ、パビートレーニングなどに取り組む講師が授業を行う。

【到達目標】

ウサギ、モルモット、チンチラ、リス、ハムスター、フェレット、ハリネズミ、コンパニオンパード、カメ、トカゲ、ヘビの生態を学び、飼育管理ができ、正しい飼育方法について説明できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	エキゾチックアニマルとは 生態系のなりたちについて
2回目	ウサギの生態、飼育管理、疾病について
3回目	モルモット、チンチラの生態、飼育管理、疾病について
4回目	リス、ハムスターの生態、飼育管理、疾病について
5回目	フェレット、ハリネズミの生態、飼育管理、疾病について
6回目	カメの生態、種類、飼育管理について
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	トカゲの生態、種類、飼育管理について
10回目	ヘビ、カエルの生態、飼育管理について
11回目	コンパニオンパード 概論、飼育管理、体のしくみについて
12回目	コンパニオンパード 種類、疾病について
13回目	観賞魚の飼育基礎、水質管理について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	身近な動物について自身が持っている経験や知識を整理すること、教科書を読んで予備知識を持って授業にのぞむことが大切。配布されたプリントに書き込み、メモを取った内容について復習して知識の定着に努めること。
評価方法	中間テスト30%、期末テスト50%、授業内評価20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書
滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の飼育管理」
プリント配布

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物学概論 (Introduction to Zoology)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	川口澄雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日1or2時限

【授業の学習内容】

動物園の歴史から進化・分類や法則、動物関連の法律、動物の地理的分布から生理学、生態学を理解する。

※実務経験者

昭和48年福岡市動物園飼育員採用。子供動物園を最初に園内のほとんどの動物を担当。ウサギ、モルモット、小鳥から、中型動物、大型動物ゾウ、カバ、サイ、キリン、など特にゴリラ、チンパンジーは通算すると15年程担当する。平成27年退職。30年以上飼育現場に携わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物学に関する基本的な知識の習得を目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容及び授業の進め方、到達目標について
2回目	動物園・水族館の歴史（新 飼育ハンドブック③ P1～）
3回目	動物園・水族館の役割（新 飼育ハンドブック③ P10～）
4回目	動物園・水族館に関する法令（新 飼育ハンドブック③ P18～）
5回目	分類①～分類と分類学～（新 飼育ハンドブック③ P33～）
6回目	分類②～国際動物命名規約～（新 飼育ハンドブック③ P39～）
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	中間評価及び振り返り②
9回目	分類③～脊椎動物の分類～（新 飼育ハンドブック③ P45～）
10回目	生理①～哺乳類～（新 飼育ハンドブック③ P59～）
11回目	生理②～鳥類～（新 飼育ハンドブック③ P71～）
12回目	生理③～両性・爬虫類～（新 飼育ハンドブック③ P86～）
13回目	オーストラリアの動物相について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業当日までに教科書の該当箇所を読んでおくこと。またテレビやインターネット、図鑑、研修、これらの授業との関連性を理解するように努力してほしい。
評価方法	中間評価試験(40%) 期末評価試験(40%) 授業内評価(20%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック③

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物学概論 (Introduction to Zoology)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	川口澄雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育 & 動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日1or2時限

【授業の学習内容】

動物園の歴史から進化・分類や法則、動物関連の法律、動物の地理的分布から生理学、生態学を理解する。

※実務経験者

昭和48年福岡市動物園飼育員採用。子供動物園を最初に園内のほとんどの動物を担当。ウサギ、モルモット、小鳥から、中型動物、大型動物ゾウ、カバ、サイ、キリン、など特にゴリラ、チンパンジーは通算すると15年程担当する。平成27年退職。30年以上飼育現場に携わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物学に関する基本的な知識の習得を目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	生態～環境エンリッチメント①
2回目	生態～環境エンリッチメント②
3回目	生態～環境エンリッチメント③
4回目	環境エンリッチメントを考える～グループワーク及び発表
5回目	生態②～動物生態の理解(生体用語等の解説)
6回目	生態②～動物生態の理解(コミュニケーション)
7回目	生態②～動物生態の理解(多様な繁殖様式)
8回目	中間評価及び振り返り①
9回目	中間評価及び振り返り②
10回目	生態②～動物生態の理解(繁殖戦略)
11回目	生態②～動物生態の理解(本能と学習)
12回目	生態③～進化に基づく諸現象の理解～
13回目	1年間のまとめ
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業当日までに教科書の該当箇所を読んでおくこと。またテレビやインターネット、図鑑、研修、これらの授業との関連性を理解するように努力してほしい。
評価方法	中間評価試験(40%) 期末評価試験(40%) 授業内評価(20%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック③

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限or金曜日・4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。</p> <p>※実務経験者 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。 ②目標①の内容について、説明ができる。 ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的、進め方、動物園動物の繁殖の目的・特徴など(総論)①
2回目	動物園動物の繁殖の目的・特徴など(総論)②
3回目	犬の繁殖のメカニズム①
4回目	犬の繁殖のメカニズム②
5回目	猫の繁殖のメカニズム①
6回目	猫の繁殖のメカニズム②
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて①
10回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて②
11回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について①
12回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について②
13回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について③
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40%●期末評価試験40%●出席及び授業態度20%の割合で評価
【使用教科書・教材・参考書】 □	
<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」 ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖器系 内分泌系)」 	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日4時限or金曜日4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。</p> <p>※実務経験者 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。 ②目標①の内容について、説明ができる。 ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)①
2回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)②
3回目	サル類の繁殖について①
4回目	サル類の繁殖について②
5回目	草食獣の繁殖について①
6回目	草食獣の繁殖について②
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	有袋類の繁殖について
10回目	鳥類の繁殖について①
11回目	鳥類の繁殖について②
12回目	爬虫類の繁殖について①
13回目	爬虫類の繁殖について②
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40%●期末評価試験40%●出席及び授業態度20%の割合で評価
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p> <p>・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」 ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖器系 内分泌系)」</p>	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 (Practice of Animal Keeping)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳／施設スタッフ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3・4時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。
 実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。

※実務経験者

椎場瞳: サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。
 各授業では、実際の現場へ出向き、また現場で働くスタッフを学校へ招くなどして講話を受け、これらの現場で求められる知識、技術を理解する。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる。
- ・基本的な動物の飼育管理が出来る。
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る。
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス①】目的・目標、年間スケジュール
2回目	【施設見学①】動物の森
3回目	【施設見学②】ピクニカ共和国
4回目	【キーパーズトーク①】大牟田市動物園
5回目	【宿泊研修】大分
6回目	【宿泊研修】大分
7回目	【キーパーズトーク②】大牟田市動物園
8回目	【施設見学③】動物愛護センター
9回目	【ガイダンス②】業界研修前ガイダンス
10回目	【キーパーズトーク③】大牟田市動物園
11回目	【キーパーズトーク④】大牟田市動物園
12回目	【特別講義①】アニマルエスコートサービス
13回目	【キーパーズトーク⑤】大牟田市動物園
14回目	【ガイダンス③】前期の振り返り、海外実学研修に向けて
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成し、バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有する。 外に出る機会が多い。福岡ECOの学生としての立居振舞をするよう心掛けること。
評価方法	レポート: 80%、授業内評価(傾聴力・発言力): 20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 (Practice of Animal Keeping)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳／施設スタッフ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日3・4時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。
 実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。

※実務経験者

椎場瞳:サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。
 各授業では、実際の現場へ出向き、また現場で働くスタッフを学校へ招くなどして講話を受け、これらの現場で求められる知識、技術を理解する。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる
- ・基本的な動物の飼育管理が出来る
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス④】後期スケジュール確認
2回目	【特別講義②】(つまき♪さん)
3回目	【施設見学④】森きさら、たびら昆虫園
4回目	【施設見学⑤】到津の森公園
5回目	【ガイダンス⑤】乗馬演習説明
6回目	【特別講義③】(西原先生)
7回目	【施設見学⑧】いのちのたび博物館、環境ミュージアム
8回目	【施設見学⑦】きさら浜自然観察公園、ときわ動物園
9回目	【施設見学⑨】ペットショップ
10回目	【施設見学⑩】阿蘇カドリー・ドミニオン、阿蘇猿まわし劇場
11回目	【演習】乗馬演習①
12回目	【演習】乗馬演習②
13回目	【演習】乗馬演習③
14回目	【演習】乗馬演習④
15回目	【ガイダンス⑥】1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成し、バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有する。 外に出る機会が多い。福岡ECOの学生としての立居振舞をするよう心掛けること。
評価方法	レポート:80%、授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 (Practical Dog Training)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	松尾 彩加
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜4時限or金曜3時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりが長い「犬」に関して学ぶ事は、動物の学習理論に理解を深めるとともに動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客・ふれあい・啓発等)にも活用できる。この授業では犬の習性や学習のプロセス、また動物施設における適切な管理を学び、実践する。

※実務経験者

家庭犬トレーナーとして犬のしつけ教室や幼稚園等の業務を行う傍ら、災害救助犬の訓練やハンドラーとして現場に携わっている講師が授業を実施する。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬のトレーニングができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	講師紹介、1年間の授業の流れ、注意点等説明
2回目	犬の歴史について(オオカミから犬になるまで)
3回目	犬の体の構造、感覚機能について
4回目	ボディランゲージ、カーミングシグナルについて
5回目	4回までの振り返り、犬の生態・習性について
6回目	中間評価及び振り返り①
7回目	振り返り②+犬種学(第1グループ)
8回目	犬種学(第2グループ、第3グループ) 犬種小テスト
9回目	犬種学(第3グループ、第4グループ) 犬種小テスト
10回目	犬種学(第5グループ、第6グループ) 犬種小テスト
11回目	犬種学(第6グループ、第7グループ) 犬種小テスト
12回目	犬種学(第8グループ、第9グループ) 犬種小テスト
13回目	犬種学(第9グループ、第10グループ) 犬種小テスト
14回目	前期評価及び振り返り①
15回目	振り返り②

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験:50%
レポート提出及び評価:40%
平常点(授業態度、授業への積極的参加等):10%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 (Practical Dog Training)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	松尾 彩加
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜4時限or金曜3時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりの長い「犬」に関して学ぶ事は、動物の学習理論に理解を深めるとともに動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客・ふれあい・啓発等)にも活用できる。この授業では犬の習性や学習のプロセス、また動物施設における適切な管理を学び、実践する。

※実務経験者

家庭犬トレーナーとして犬のしつけ教室や幼稚園等の業務を行う傍ら、災害救助犬の訓練やハンドラーとして現場に携わっている講師が授業を実施する。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬のトレーニングができるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	犬具の説明、使い方、トレーニング用語
2回目	基本的な犬の抱き方、扱い方、パピートレーニング
3回目	犬の行動分析学(古典的条件付け、オペラント)
4回目	犬の行動分析学(罰による副作用)
5回目	基礎トレーニング
6回目	基礎トレーニング(スワレ、フセ、ターゲット、解除、ヒール)
7回目	クリッカートレーニング(クリッカートレーニングのポイント、用語)
8回目	クリッカートレーニング(シェイピングゲーム)
9回目	クリッカートレーニング(犬を使ってシェイピング)
10回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
11回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
12回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
13回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
14回目	後期期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験:60%
実技試験:30%
平常点(授業態度、授業への積極的参加等):10%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 (Practical Small Animal Care)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日1時限or水曜日1or4時限

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。

※実務経験者

サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。

【到達目標】

- ・飼養管理:各種動物に合った飼養管理を理解する。
- ・掃除:限られた時間内での素早く丁寧な掃除が出来る。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	講師紹介、1年間の授業の流れ、注意点等説明、グループ分け
2回目	飼養管理①【掃除道具の種類と使い方】
3回目	飼養管理②【エサの種類と調餌と給餌について】
4回目	飼養管理③【ウサギ・モルモットの飼育について】
5回目	飼養管理④【齧歯目の飼育について】
6回目	飼養管理⑤【大型哺乳動物の飼育について】
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	飼養管理⑥【両生・爬虫類の飼育について】
9回目	飼養管理⑦【鳥類の飼育について】
10回目	飼育管理実践①【飼育動物の飼育実践】
11回目	飼育管理実践②【飼育動物の飼育実践】
12回目	飼育管理実践③【飼育動物の飼育実践】
13回目	飼育管理実践④【飼育動物の飼育実践】
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	前期のまとめ
準備学習 時間外学習	授業終了後、各班報告書の作成
評価方法	授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)80%、筆記試験20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 (Practical Small Animal Care)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日1時限or水曜日1or4時限

【授業の学習内容】

小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。
接客の基礎とホスピタリティを学ぶ。
動物ふれあいでの接客と動物の扱い方を学ぶ。

※実務経験者

サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。

【到達目標】

- ・接客:相手に合った言葉遣い、姿勢が出来る。
- ・ふれあい:ふれあい時の注意点や事故への対応を理解する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ふれあいと接客①【接客について 笑顔、第一印象】
2回目	ふれあいと接客②【ふれあいについて 動物の扱い方】
3回目	ふれあいと接客③【ふれあいについて 言葉遣いや姿勢】
4回目	ふれあいと接客④【衛生面、ふれあい時の事故について】
5回目	ふれあいと接客⑤【少人数対応と大人数対応】
6回目	ふれあいと接客⑥【グループワーク どんなふれあい接客をすれば喜ばれるか】
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画①】
9回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画②】
10回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画③】
11回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画④】
12回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画⑤】
13回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画⑥】
14回目	後期期末評価及び振り返り
15回目	1年間のまとめ

準備学習 時間外学習	授業終了後、各班報告書の作成
---------------	----------------

評価方法	授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)80%、筆記試験20%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	千葉恵一・井口恵美里・芳村周一
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する
 前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務経験者

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Wordを使ってレポート作成が出来るようになる
 安全にインターネットを利用出来るようになる
 「We are ECO」のスライドが作れるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	USBメモリー紛失対策・USBメモリーの使い方等／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作(主に文章入力)
4回目	Wordの基本操作(主に文章編集)
5回目	Wordの基本操作(主に写真を貼り付けた文章の作成)
6回目	Wordの基本操作(主に図形を描画して色・線種を変更する)
7回目	Wordの基本操作(課題提出)
8回目	Word中級編(主に表を挿入し読みやすい表に整形する)
9回目	Word中級編(文章作成の役に立つ機能を勉強する)
10回目	Word中級編(図+文字で他人の関心を引く文章を作成する)
11回目	Wordの応用(計算式を入力してみる)
12回目	Wordの応用(レポート作成に便利な機能を勉強する)
13回目	Wordの応用(繰り返し利用する文章を簡単に作る方法を勉強する)
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	PowerPoint基礎(文字だけもの・画像を入れたもの・グラフ等を入れたもの)

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	授業内評価: 60% 期末テスト: 40% ※提出作品(データで提出)
------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	千葉恵一・井口恵美里・芳村周一
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
 Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。
 ※実務経験者
 滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らす
 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成できるようになる
 「We are ECO」のスライドを作成する

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	PowerPoint基礎(印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション)
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価:60%
 期末テスト:40% ※提出作品(PowerPoint作品提出・Excel作品提出)

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	スティーブン・ムラシゲ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1or2時限

【授業の学習内容】

外国の方と接する際、恥ずかしがらずに挨拶や基本的な事を英語で話し、更に自分から話しかけることができるよう学習する。
ただ座って聞くだけではなく、アクティビティに参加しながら体感的に学んでいく。

※実務経験者

スティーブン・ムラシゲ:2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。

【到達目標】

- ・日常生活の様々な場面で使える頻度の高い英語の文法を会話に当てはめて使えるようになること。
- ・授業でのコミュニケーションな会話の実践を通して、相手の会話をすぐに理解し、積極的な対応ができる技術を身につけること(自信を持って尚且つ丁寧に相手の話を聞き、返答ができるようになること)

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	L. 1	イントロダクション、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話をします。
2回目	L. 3	パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問をします。
3回目	L. 6	好き・嫌い等の好みについての会話をします。
4回目	L. 8	意見を尋ねる/意見を述べる。
5回目	L. 9 & 10	家族や性格について話す。
6回目	L. 11	人を褒める&褒められた際の会話表現 (衣服など)
7回目	L. 7, 13	時間について表現する。日々の習慣について話す。
8回目	L. 14	補足質問をします。
9回目	L. 19 & 20	道案内をします・場所を尋ねる。
10回目	L. 21 & 23	数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをします。
11回目	L. 28	料理の味や材料について&レストランでのオーダー方法を学ぶ。
12回目	L. 29 & 30	過去の出来事について話す&質問する。
13回目	L. 32	未来の予定について話す。
14回目	期末評価及び振り返り①	
15回目	振り返り②	

準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
---------------	-------------------

評価方法	学期末に筆記試験あり(定期試験100%)
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now I

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier planning-I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	小松 和弘 or 椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限or2時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目をを充実したものにするために、夢をかなえ動物業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、動物業界の方から動物業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「動物施設見学」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <学園祭準備活動> ・ 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <学園祭準備活動> ・ 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則」を学ぶ
4回目	「集団での役割」の理解と実践 ③ <学園祭準備活動> ・ キャリアデザイン ① 自己の過去を振り返る(自己理解)
5回目	「集団での役割」の理解と実践 ④ <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク:動物業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク:動物業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
10回目	グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク:動物業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返り
13回目	グループワーク:夏休みの取り組みの振り返りとこれからの目標を設定する
14回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <スポーツフェスタ準備活動> ・ キャリアデザイン ② 自分らしさ、自己の強みをまとめる(自己理解)
15回目	前期振り返りと後期に向けての準備

準備学習
時間外学習

1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く
2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する
3. 事前課題など各種レポートを書く

評価方法

1. 【チームマネジメント(協働作業)】 集団(クラス)での役割の理解と実践 (40%)
2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオの提出 (30%)
3. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート提出 (30%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier planning-I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	小松 和弘 or 椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1時限or2時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目をを充実したものにするために、夢をかなえ動物業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、動物業界の方から動物業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「動物施設見学」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 履歴書作成ができるようになる
4. 立志作文が書くことができるようになる
5. 2年次の就職活動のスケジュールが準備できている

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 履歴書作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 履歴書作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 履歴書作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 合同企業説明会の振り返り
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
10回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ②
13回目	「集団での役割」の理解と実践 ③ <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ③
14回目	「集団での役割」の理解と実践 ④ <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ④
15回目	後期振り返りと2年次に向けての準備

準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
---------------	--

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【チームマネジメント(協働作業)】 集団(クラス)での役割の理解と実践 (40%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (30%) 3. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (30%)
------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	村上 弘志
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限or金曜日2時限

【授業の学習内容】

担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養を学び、また各種イベントの成功を共同目標として取り組み、社会人としての常識を身に付け良好な人間関係を築くことができる力を養う。

【到達目標】

- ・社会人となる心構えや一般教養を学び社会人としての常識を身につける。
- ・クラス内での協調性を身に付けることができる
- ・主体性を持って行動することができる
- ・卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ガイダンス、1年間の流れ、授業の進め方、クラス組織作り
2回目	クラス目標決め、学園祭について(テーマ・コンセプト決め)、漢字テスト(1~3)
3回目	学園祭について(内容決め)、GWの過ごし方、漢字テスト(4・5)
4回目	学園祭について(進捗状況確認)、漢字テスト(6・7)
5回目	学園祭について、漢字テスト(8・9)
6回目	合同企業説明会について～キャリアセンターより～
7回目	学園祭について、合同企業説明会について(先輩事例等)
8回目	学園祭について(最終確認)、漢字テスト(10・11)
9回目	業界研修について(再確認事項、今後の活動計画)、漢字テスト(確認テスト・12)
10回目	「学園祭・合同企業説明会」振り返り(ppt.使用し発表)
11回目	就職活動情報
12回目	夏季休暇行動計画、研修情報、漢字テスト(13・14)
13回目	スポーツフェスタについて、漢字テスト(15・16)
14回目	現在の就職活動状況について～キャリアセンターより～、漢字テスト(17・18)
15回目	前期振り返り(各イベントについて、就職活動について)

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価(70%)
試験評価(30%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

- ・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版)

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	村上 弘志
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3時限or水曜日4時限

【授業の学習内容】

担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えや一般教養を学び、また各種イベントの成功を共同目標として取り組み、社会人としての常識を身に付け良好な人間関係を築くことができる力を養う。

【到達目標】

- ・社会人となる心構えや一般教養を学び社会人としての常識を身につける。
- ・クラス内での協調性を身に付けることができる
- ・主体性を持って行動することができる
- ・卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

授業計画・内容

1回目	卒業までの流れ、個人計画、個別面談シート
2回目	漢字テスト(19・20)/内定者報告会①
3回目	漢字テスト(21・22)/手紙屋(就活編)①「手に入れたいものを入れる方法」
4回目	漢字テスト(23・24)/手紙屋(就活編)②「法人(会社)とは」
5回目	漢字テスト(25・26)/【グループワーク】窮地を救え「チームワークで窮地を乗り越える方法を考えよう」
6回目	漢字テスト(27・確認テスト)/新社会人の基礎力109①
7回目	漢字テスト(時事ワークシート)/新社会人の基礎力109②
8回目	We are ECO卒業研究発表
9回目	We are ECO卒業研究発表
10回目	We are ECO卒業研究発表
11回目	今年の振り返り(今年の自分を表す一文字漢字)/社会人基礎力
12回目	今年の目標(クラス、個人)、書初め
13回目	今後の予定確認、卒業式について
14回目	【個人ワーク】エゴグラム～自分自身を振り返る～
15回目	2年間の振り返り、自信のこれからについて「決意表明」一人ずつ発表
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価(70%) 試験評価(30%)
【使用教科書・教材・参考書】 □	
	・10分間集中TRAINING「中学A級漢字」(教学研究所出版) ・新社会人の基礎力109

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	田代 マキ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3or4or5時限or水曜日5時限

【授業の学習内容】

社会人としての基本【挨拶】【表情】【身だしなみ】【言葉遣い】【態度】などを身につけて、社会人基礎力の向上を目指す。

※実務経験者

キャリアカウンセラー、精神保健福祉士。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで職場の心と環境を整える活動を展開されている。

【到達目標】

グループワークを主として協調性とは何かを学ぶ。社会人の基本を自己確認、自己分析する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	声の心理作用について、他己紹介準備
2回目	他己紹介
3回目	非言語を学ぶ
4回目	言語ワーク① グループカとは
5回目	言語ワーク② グループカとは
6回目	非言語ワーク
7回目	基礎知識を確認する
8回目	適性検査について
9回目	グループワーク(知識編)
10回目	一般常識、グループワーク①
11回目	一般常識、グループワーク②
12回目	グループワーク(専門+一般常識テスト)
13回目	PREP法での夏休み報告
14回目	グループプレゼンテーション準備
15回目	グループプレゼンテーション発表
準備学習 時間外学習	課題により準備学習あり
評価方法	・プレゼン力:30% ・傾聴力:40% ・筆記試験:30%

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	田代 マキ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3or4or5時限or水曜日5時限

【授業の学習内容】

社会人としての基本【挨拶】【表情】【身だしなみ】【言葉遣い】【態度】などを身につけて、社会人基礎力の向上を目指す。

※実務経験者

キャリアカウンセラー、精神保健福祉士。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで職場の心と環境を整える活動を展開されている。

【到達目標】

- ・グループの中の個の役割を果す努力をする。
- ・どうすれば達成可能なのかを考え実行する。
- ・キャリアデザインを計画する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	電話対応
2回目	一般常識・スピーチ練習
3回目	自己PRの作り方
4回目	自己PR・メラビアンの法則
5回目	設問への取り組み、答え方
6回目	一問一答
7回目	アサーティブワーク
8回目	自己確認の行い方
9回目	リフレーミング 口調の持つ効果
10回目	リフレーミング グループワーク
11回目	今までの学習確認、一年間の学び文章作成、文章の作り方
12回目	他己紹介
13回目	一般常識・グループワーク①
14回目	一般常識・グループワーク②
15回目	発言練習 グループディスカッションの進め方

準備学習
時間外学習

評価方法

- ・プレゼン力:30%
- ・傾聴力:40%
- ・筆記試験:30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーションⅡ (PresentationⅡ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	松本 孝生
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3時限、火曜日5時限

【授業の学習内容】

就職先に最低限求められる「素直さ・謙虚さ・明るさ」と「マナー・エチケット・一般教養」などの常識を身に付け、当たり前のことを当たり前に行える学生を育てる。

※実務経験者

人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

【到達目標】

- 自己表現力の達成度を実感する。
- ライフポジションチェック・自分自身の再発見から自分から見た自分、相手から見た自分の評価の違いを考える。
- 電話・面接の即応力を身に付け、相手の動きや話の変化にふさわしい対応ができる。
- 面接マナーと質疑応答を通して、自信の考え方、目標、ビジョン等の表現力と対応力を学ぶ。
- 社会人としての基本的行動、洞察力、発言力を身に付け相手の気持ちを見抜く力をつける。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容説明
2回目	自己PR 自己表現力の達成度確認と向上力
3回目	ライフポジションチェック 対人関係能力の高め方・自己発見
4回目	ライフポジションチェック 感想レポート、発表
5回目	電話対応の仕方
6回目	面接会場に行くマナーと心構え
7回目	1分プレゼンテーション 志望動機・自己PR等 ●原稿なしで1分間で簡潔に話す
8回目	面接練習① 集団面接
9回目	面接練習② 個人面接
10回目	SPI適性問題テスト
11回目	夏休みの報告（文書表現）
12回目	夏休みの報告（発表表現）
13回目	社会人の基礎知識① 厚生年金・社会保険・雇用保険・税金
14回目	社会人の基礎知識② 慶弔ルール、社交儀礼 ●小論文として学んだこともまとめを宿題として期日までに提出とする
15回目	接遇マナー① 名刺交換
準備学習 時間外学習	
評価方法	・授業態度30% 【授業受講姿勢】 ・発表能力40% 【研修先での挨拶を実施2分間テスト】 ・小論文能力30% 【筆記試験を実施小論文プレゼンテーションで学んだことを書く】
【使用教科書・教材・参考書】 □	
講師作成資料	

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーションⅡ (PresentationⅡ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	松本 孝生
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3時限、火曜日5時限

【授業の学習内容】

就職先に最低限求められる「素直さ・謙虚さ・明るさ」と「マナー・エチケット・一般教養」などの常識を身に付け、当たり前のことを当たり前に行える学生を育てる。

※実務経験者

人材育成、キャリアコンサルタントとして25年のキャリアを持つ。ホテルにて常任顧問として社員教育に従事している。

【到達目標】

- 社会人としての基礎知識を身に付ける。
- 人を動かす話し方を学び、自分の考えを相手に伝えるための言動を行う。
- 社会の一員としての日常生活のマナーやルール、常識のある行動をとれるようになる。
- サービス業に従事する為の基礎知識を身に付ける。
- 社会人の言葉遣い・基本的スタンスを学び学生とは違った立場・考え方を行えるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	接遇マナー② お茶の出し方
2回目	接遇マナー③ 応接室、日本間、列車、車
3回目	13w～15w、1～2wの授業で各自の気づきや発見の発表
4回目	漢字一般テスト
5回目	新入社員の心構え① 役職ピラミッド・報告・連絡・相談の重要性
6回目	新入社員の心構え② 上下関係、人間関係、辞表の書き方等
7回目	テーブルマナー 和食のマナー
8回目	テーブルマナー 洋食、中華のマナー
9回目	5w～8w授業レポート発表
10回目	今年の抱負
11回目	サービス業に求められるもの
12回目	人を動かす話し方
13回目	プレゼンテーションを通して
14回目	プレゼンテーションを通して 発表
15回目	プレゼンテーションを通して まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	・授業態度30% 【授業受講姿勢】 ・発表能力40% 【研修先での挨拶を実施2分間テスト】 ・小論文能力30% 【筆記試験を実施小論文プレゼンテーションで学んだことを書く】

【使用教科書・教材・参考書】 □

講師作成資料

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限or4時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の進め方、オリエンテーション(自己紹介)、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象(コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方)【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル 「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル 「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル 「グループでの会話」【P34～】
6回目	ロープレ: 情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間評価及び振り返り、自己表現スキル 「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	自己表現スキル 「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル 「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル 「アンガーマネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル 「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル 「挨拶」「敬語」「電話対応」【P96～】
13回目	前期まとめ
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	後期の授業の進め方

準備学習
時間外学習

中間試験20点、期末試験80点=100点

評価方法

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日1時限or金曜日4時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ロープレ:ビジネス電話検定、電話対応ゲーム
2回目	社会的スキル「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ:接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間まとめ
7回目	中間評価及び振り返り、サービスマインドとは
8回目	DVD鑑賞 マナーの本質「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ:ビジネスシュミレーションゲーム(敬語・電話対応・訪問・接客)
12回目	謝罪(謝る、お詫びする) マナーを意識した行動
13回目	後期まとめ
14回目	後期末評価及び振り返り、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ

準備学習
時間外学習

評価方法

中間試験20点、期末試験80点=100点

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動画制作 (Video Production)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	田中 守 ・ 丸田 和明
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限・金曜日2時限

【授業の学習内容】

SNS時代のWeb広告戦略概論、動画制作の座学と実践

※実務経験者(田中 守)

1991年より映像プロダクションを運営する。NHK関連の番組ディレクターとして従事、官公庁ビデオ制作にも携わる。現在は動画制作講師、動画制作コンサルタントとして活動する講師が授業を行う。

※実務経験者(丸田 和明)

熊本大学入学後、サークルチラシ製作などを行い興味を持つ。その後フリーで活躍、商品販売ページ(セールスレター)の作成やブログ・メルマガを用いたプロモーションセールスなどを行う。近年は、SNSや動画の指導、コピーライティング指導をする講師が授業を行う。

【到達目標】

Web広告の中でも動画を使った広告戦略を学び、実際に企画から撮影・編集を行って一人1作品を完成させる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション 授業説明など
2回目	SNS時代の広告戦略概論 (Web広告とは?なぜ今、動画なのか?科学でも証明される動画の優位性について学ぶ)
3回目	動画制作の基礎(動画制作の手順を学ぶ。動画作品の良し悪しを決める企画と構成について学ぶ。観てもらえるもらえる動画とスルーされる動画の違い)
4回目	企画・構成ワーク(一人1テーマを決めて、企画・構成のワークを行う。自分のテーマに沿って、誰をターゲットに、何のために、何を、どのように見せるのか?を決める。)
5回目	撮影の3要素【カメラワーク】(カメラワークの3要素「構図、ポジション、アングル」の効果について学ぶ。視聴者に作者の意図を伝えるカメラワークを学ぶ。)
6回目	撮影の3要素【照明・音声】(照明の基本=3点照明「キーライト、フィルライト、バックライト」について学ぶ。音の大切さを知る。(音の性質とマイクの特性))
7回目	撮影実習 (実際に撮影をして、基本姿勢やカメラワークの練習、照明、マイクによる実践を学ぶ。)
8回目	動画編集に慣れよう (動画編集ソフトの基本操作を学ぶ。撮影した動画を使って編集の実践を行う。静止画像や動画ファイルの種類と用途、加工方法を学ぶ。)
9回目	音編集/MA~完成 (音編集ソフトを使って音声編集を行う。音声ファイルの種類と用途について学ぶ。現場音やBGM、効果音、ナレーションなどの音を加工編集して、映像と合成して動画を完成させる。)
10回目	動画の保存と公開 (画像や動画、音声のファイル管理について学ぶ。用途別の動画書き出し方と公開方法を学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。)
11回目	作品制作実践① (一人1作品を制作実践する。)
12回目	作品制作実践② (一人1作品を制作実践する。)
13回目	作品発表及び鑑賞会① (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
14回目	作品発表及び鑑賞会② (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
15回目	総評/まとめ (全ての作品を鑑賞しての意見交換と総評 ※スマホだけで作る動画制作を学ぶ)

準備学習
時間外学習

授業内評価 20% ・期末試験(作品評価) 80%

評価方法

【使用教科書・教材・参考書】 □

動画によるWeb広告戦略 (2019年度版)

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
	専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 就職内定先の業務を把握することができる。
2. 業務の改善を必要とする課題を見つけ報告ができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (1)
2回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (2)
3回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (3)
4回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (4)
5回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (5)
6回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (6)
7回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (7)
8回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (8)
9回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (9)
10回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (10)
11回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (1)
12回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (2)
13回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (1)
14回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (2)
15回目	業務の改善を必要とすることを課題を報告する
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	現場経験を積み途中で、業務日報を毎日記入して提出し現場担当者に見てもらいながらディスカッションを重ねる。また、それらから業務改善の課題を絞り報告内容によって評価する(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

【到達目標】

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
 プレゼンテーション力:30%
 実践力:40%
 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

動物園・動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	動物園・動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

【授業の学習内容】

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

【到達目標】

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

授業計画・内容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%
プレゼンテーション力:30%
実践力:40%
上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □